

鶴岡市子ども・子育て支援事業計画策定に係る ニーズ調査結果（概要版）

1. 調査の目的

平成27年3月に策定した「鶴岡市子ども・子育て支援事業計画」が令和元年度末に終了することに伴い、令和2年度から6年度までの5年間を計画期間とした「第二期鶴岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の教育・保育施設や子育て支援事業の利用状況、並びに、今後の利用希望等を把握し、確保すべき提供量の見込みを算出するため、ニーズ調査を実施しました。

2. 調査の対象と調査方法

調査対象：市内の就学前児童（5,002人）がいる実世帯 3,817世帯

調査方法：教育・保育施設を利用している世帯は、施設を通して配付・回収
施設未利用者には郵送により配付・回収

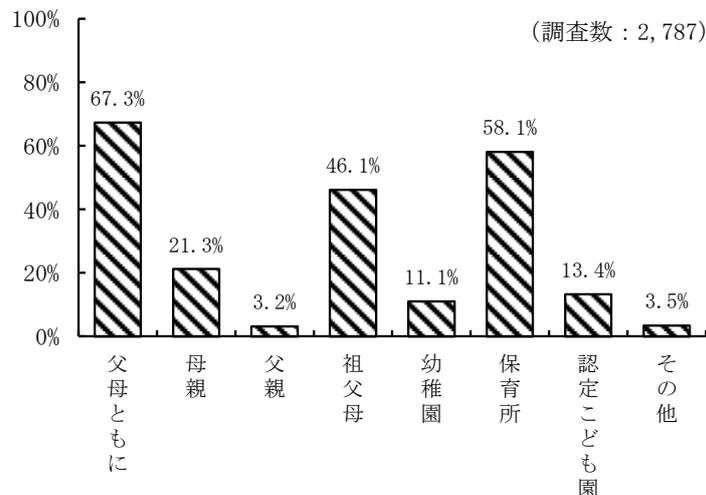
調査期間：令和元年6月上旬～6月中旬

回収結果：回答数 2,792件（73.1%）
有効数 2,787件（73.0%）

3. 主な項目の調査結果

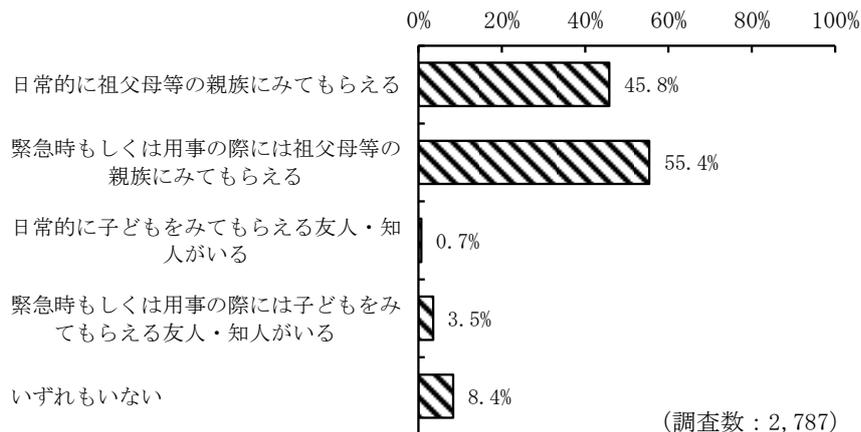
子どもの育ちをめぐる環境について

●あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）【問7】



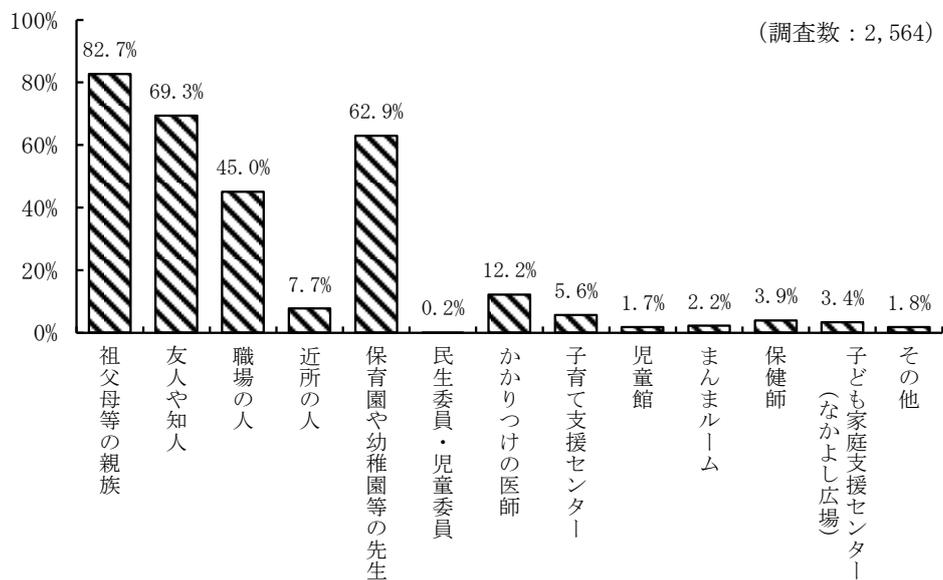
子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）では、「父母ともに」が67.3%と最も多く、次いで「保育所」（58.1%）、「祖父母」（46.1%）となっている。

●日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問9】



日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(45.8%)となっており、子どもの預かりなど、必要に応じて保護者の養育力を補完してもらえる環境下にあることがうかがえる。

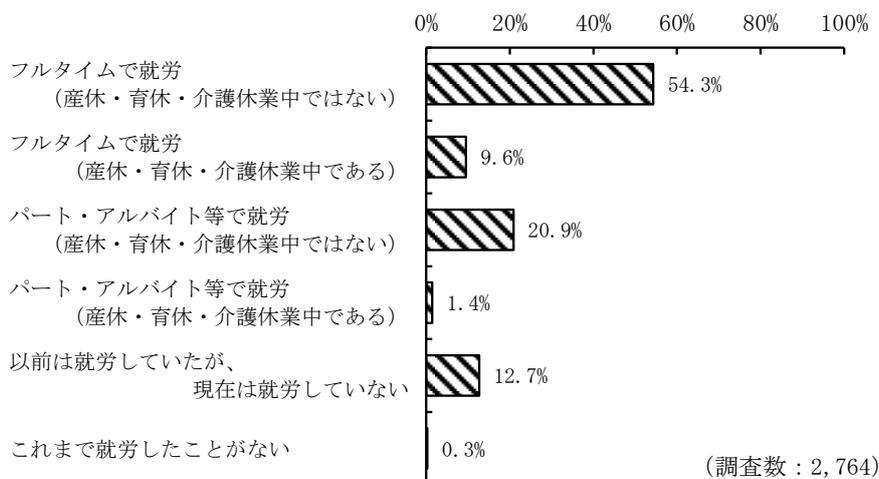
●子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先【問10-1】



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「祖父母等の親族」が82.7%と最も多く、次いで「友人や知人」(69.3%)、「保育園や幼稚園等の先生」(62.9%)、「職場の人」(45.0%)となっている。

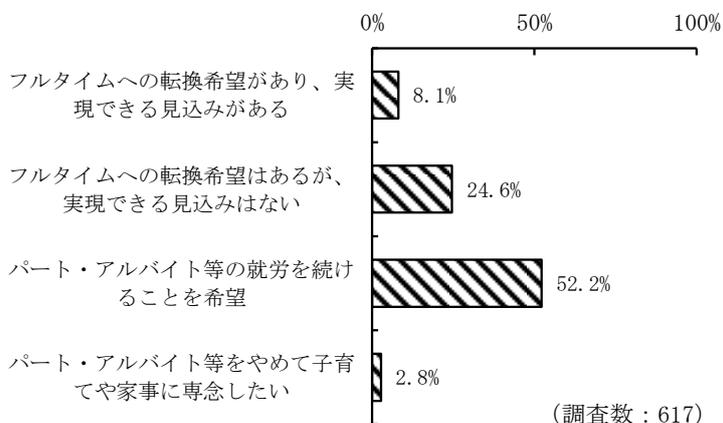
保護者の就労状況について

●母親の現在の就労状況【問 12(1)】



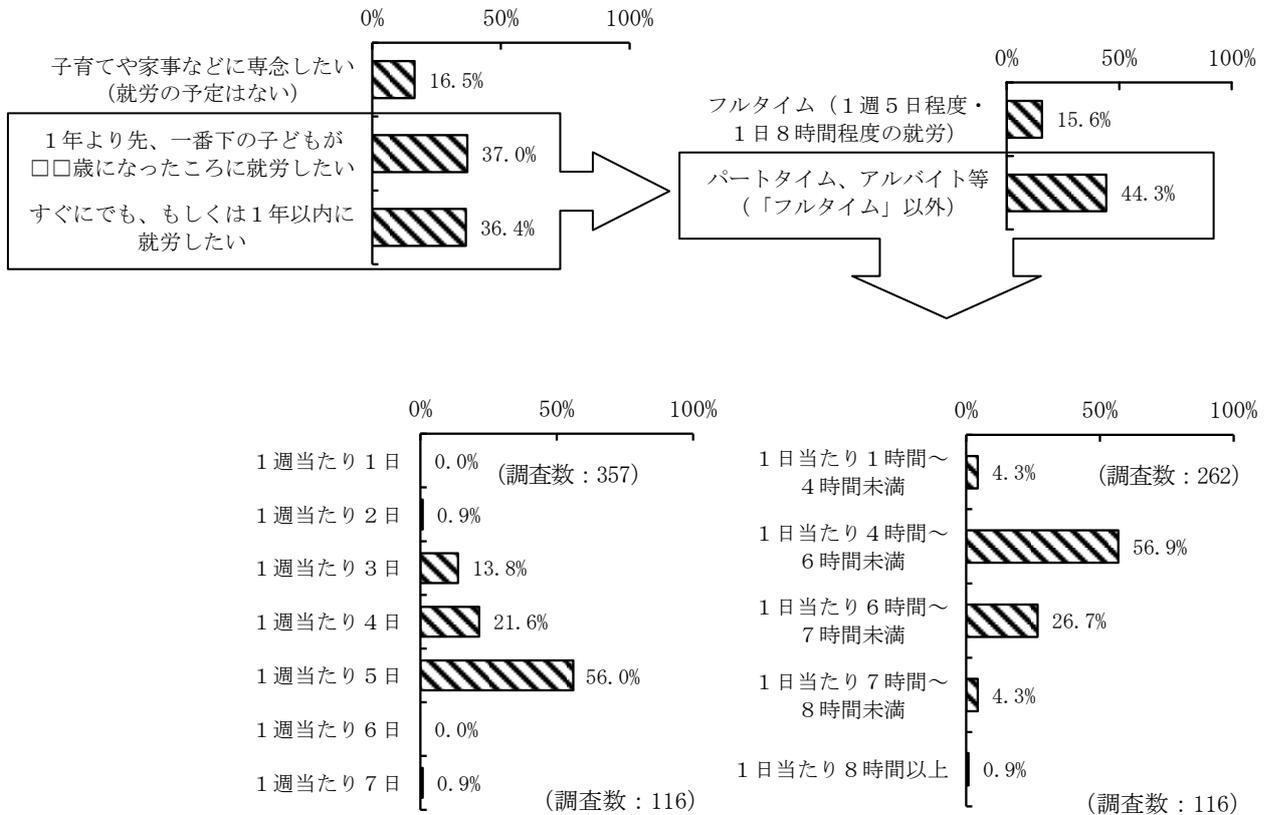
母親の現在の就労状況では、「フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）」が54.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない）」(20.9%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(12.7%)となっている。

●母親のフルタイムへの転換希望【問 13(1)】



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(24.6%)となっている。

●母親の就労希望（対象：「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」方）
【問 14(1)】



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】 [問14(1)で2を選択]

(単一回答)

| | 1 1歳～2歳 | 2 3歳～5歳 | 3 6歳～8歳 | 4 9歳～11歳 | 5 12歳以上 | 無回答 | 合計 |
|-----|------------|------------|------------|-------------|------------|------|--------|
| 構成比 | 21.2% | 44.7% | 28.0% | 3.0% | 1.5% | 1.5% | 100.0% |

(調査数：132)

現在就労していない母親の就労希望では、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」（「3歳～5歳」が最も多い）が37.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.4%と7割以上の就労希望がある。

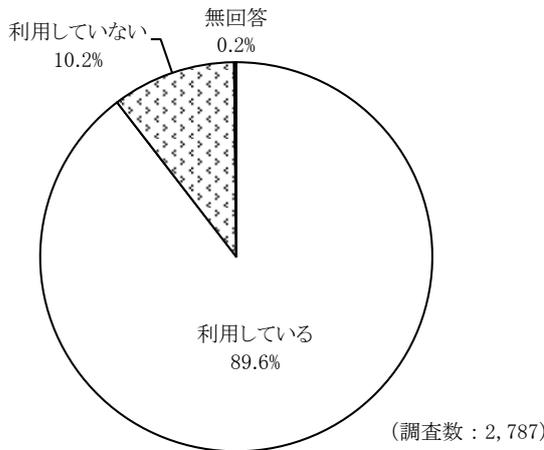
希望する就労形態では、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」（44.3%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（15.6%）となっている。

パートタイム、アルバイト等による就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「5日」が56.0%と最も多くなっている。

また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が56.9%と最も多く

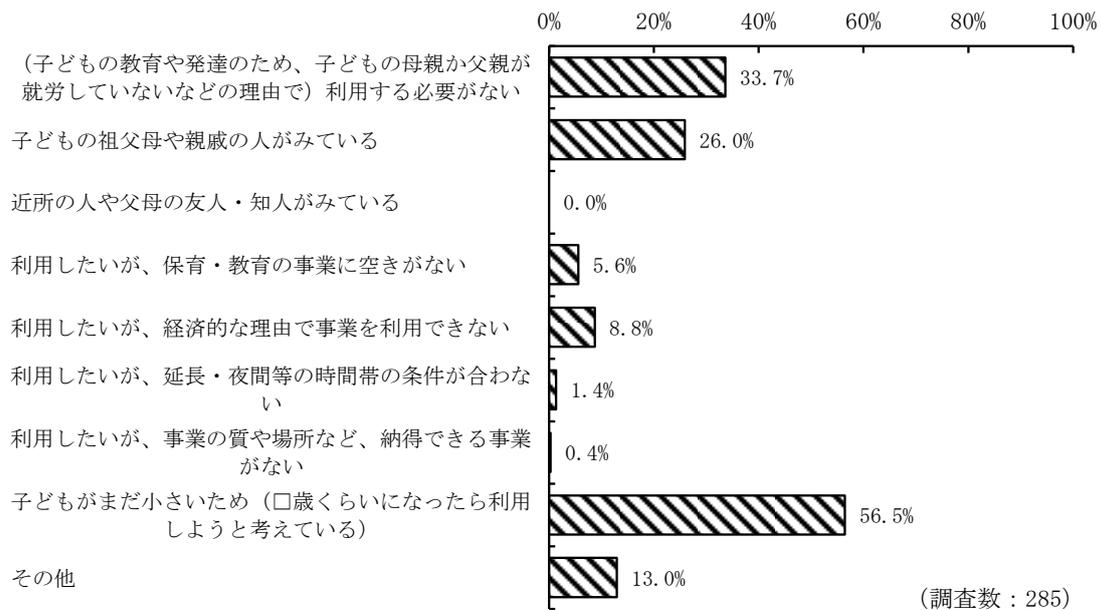
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

●現在の教育・保育事業の利用状況【問 15】



現在の教育・保育事業の利用状況では、「利用している」が89.6%、「利用していない」が10.2%となっている。

●教育・保育事業を利用していない理由【問 15-5】



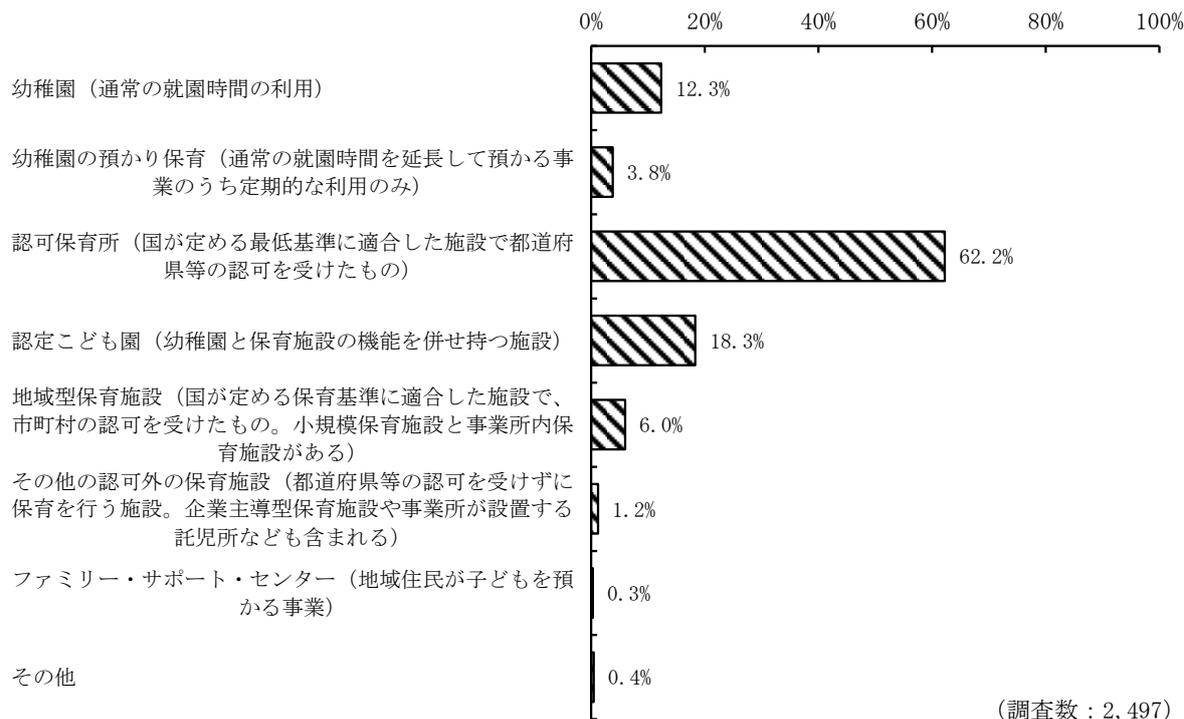
【8. 子どもがまだ小さいため 利用しようと考えている子どもの年齢】(単一回答)

| | 1 1歳以下 | 2 2歳 | 3 3歳 | 4 4歳 | 無回答 | 合計 |
|-----|-----------|---------|---------|---------|------|--------|
| 構成比 | 26.1% | 15.5% | 47.2% | 10.6% | 0.6% | 100.0% |

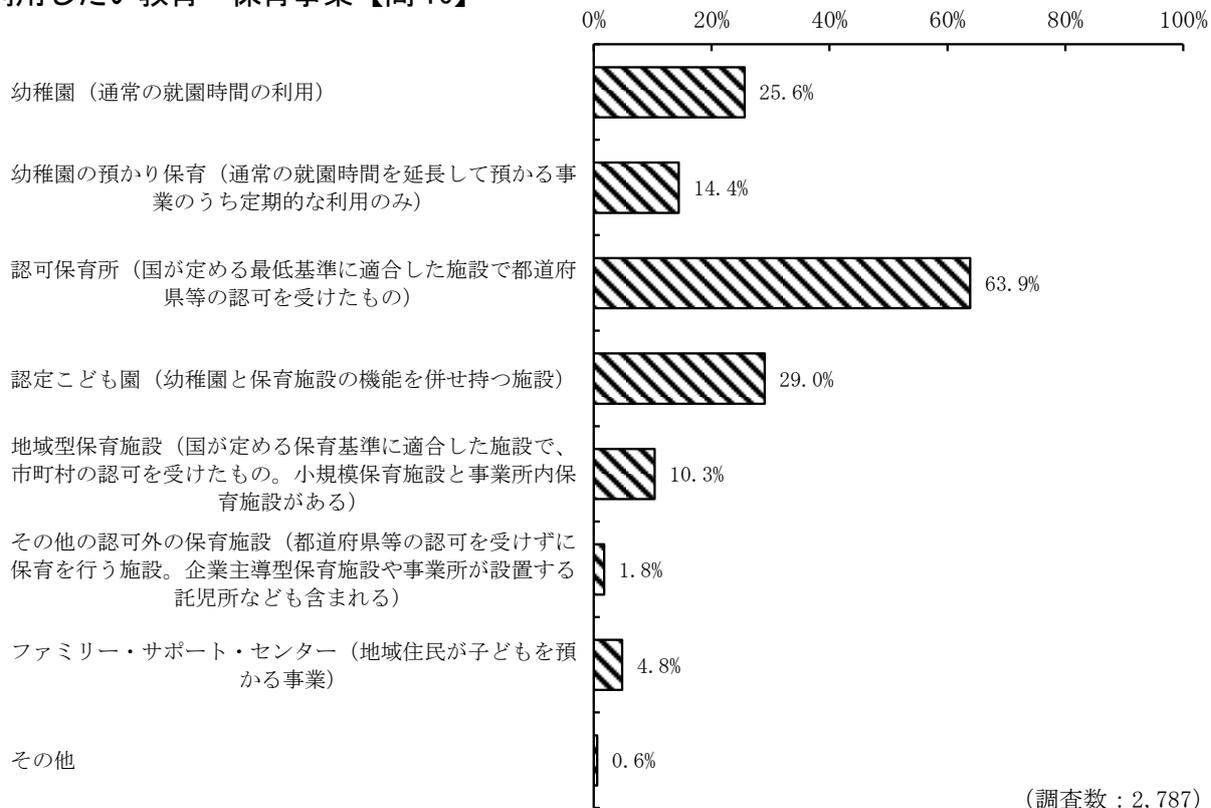
(調査数:161)

教育・保育事業を利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」「3歳」が最も多い)が56.5%と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」(33.7%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(26.0%)となっている。

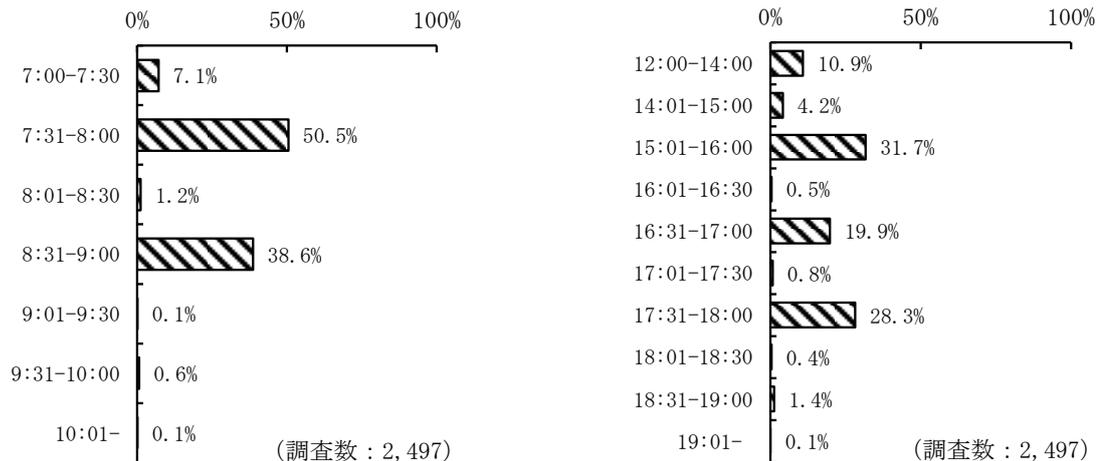
●現在、利用している教育・保育事業【問 15-1】



●利用したい教育・保育事業【問 16】

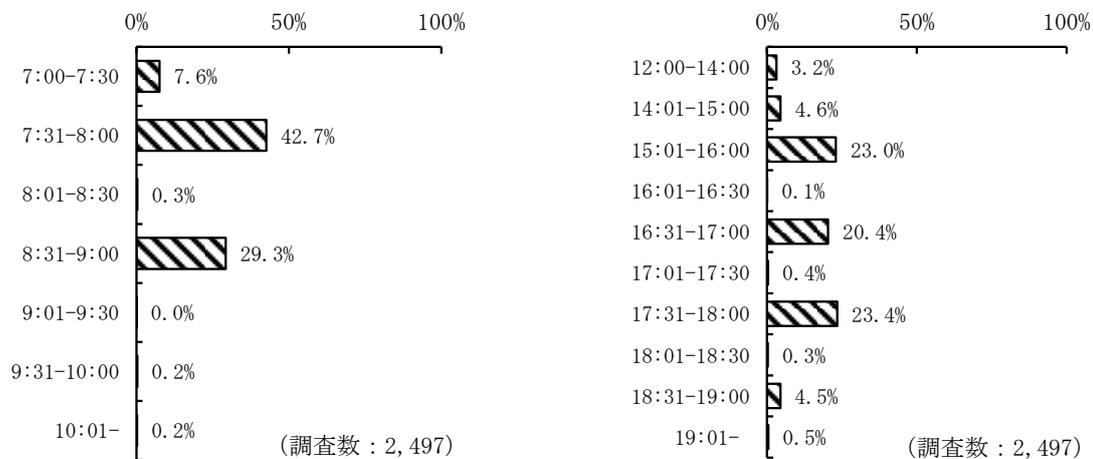


●現在の教育・保育事業の利用時間【問 15-2(1)】



利用開始時間では、「7時31分～8時」が50.5%と最も多く、利用終了時間では、「15時1分～16時」が31.7%と最も多くなっている。

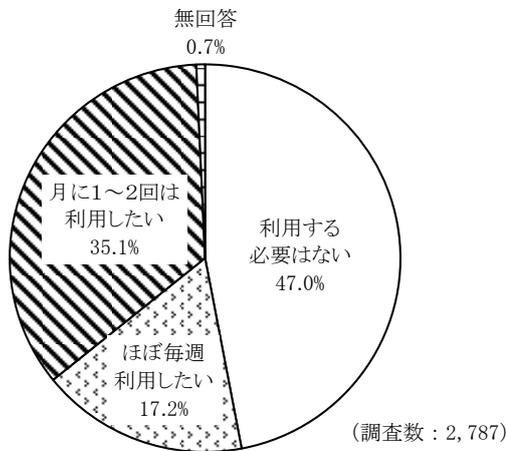
●希望する教育・保育事業の利用時間【問 15-2(2)】



利用開始時間では、「7時31分～8時」が42.7%と最も多く、利用終了時間では、「17時31分～18時」が23.4%と最も多くなっている。

土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

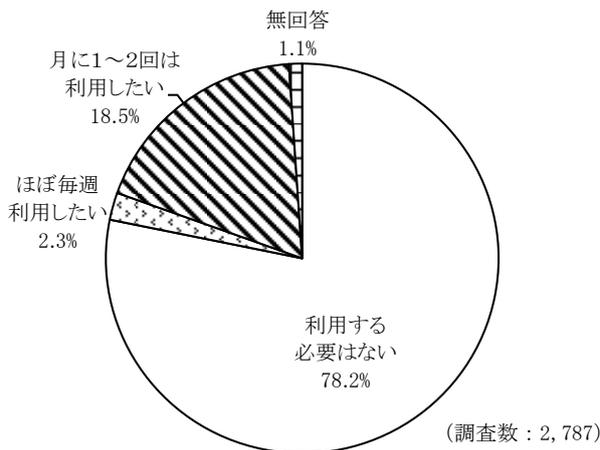
●土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(1)】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が47.0%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」(35.1%)、「ほぼ毎週利用したい」(17.2%)と利用希望は5割以上となっている。

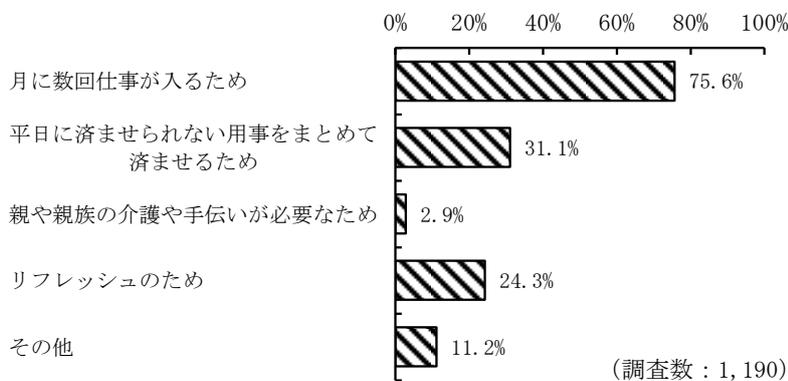
●日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(2)】



日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が78.2%と最も多くなっている。

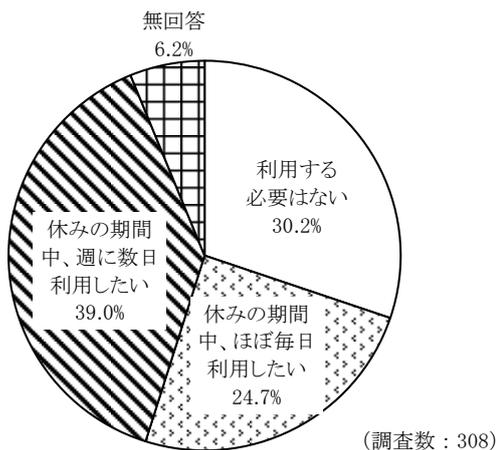
一方、「月に1～2回は利用したい」(18.5%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)と利用希望は約2割となっ

●毎週ではなく、たまに利用したい理由【問 20-1】



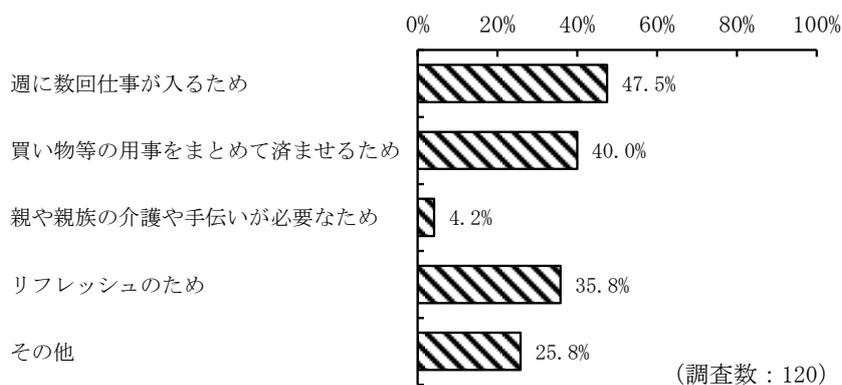
毎週ではなく、たまに利用したい理由では、「月に数回仕事が入るため」が75.6%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(31.1%)、「リフレッシュのため」(24.3%)となっている。

●長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（対象：「幼稚園」を利用している方）【問 21】



幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が39.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が24.7%と利用希望は6割以上となっている。

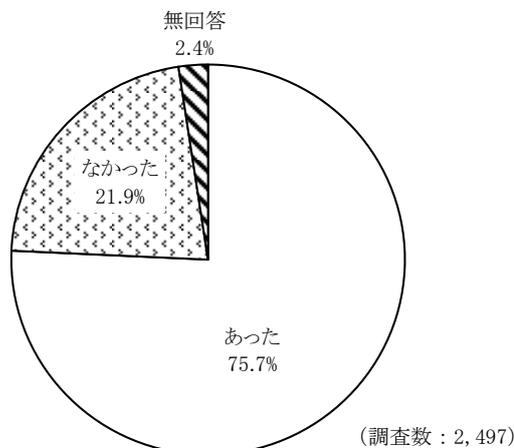
●毎日ではなく、たまに利用したい理由【問 21-1】



毎日ではなく、たまに利用したい理由では、「週に数回仕事が入るため」が47.5%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(40.0%)、「リフレッシュのため」(35.8%)となっている。

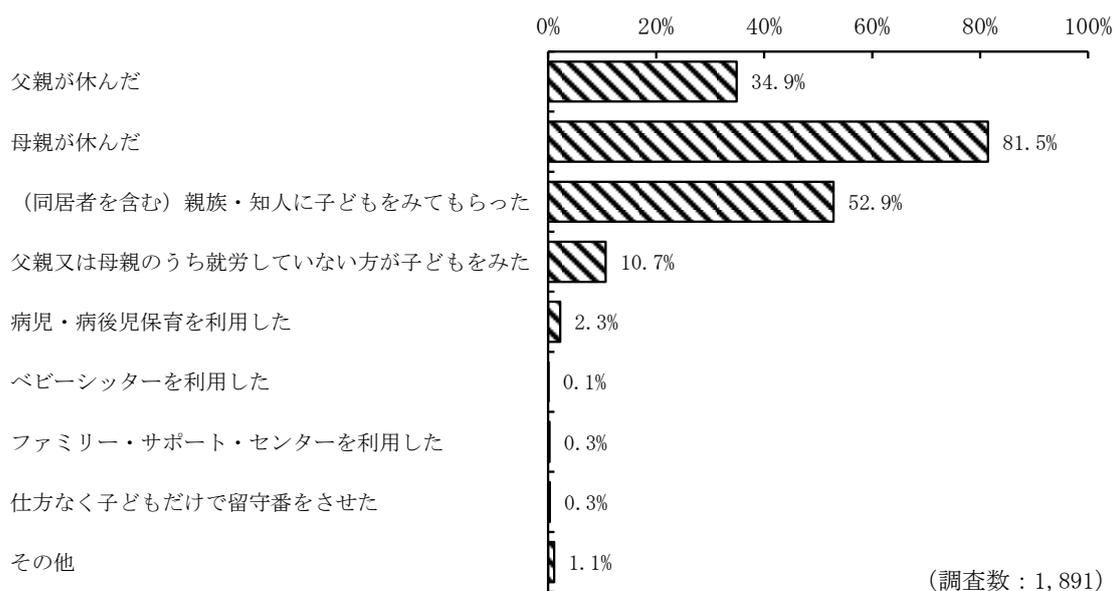
病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

●この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況【問22】



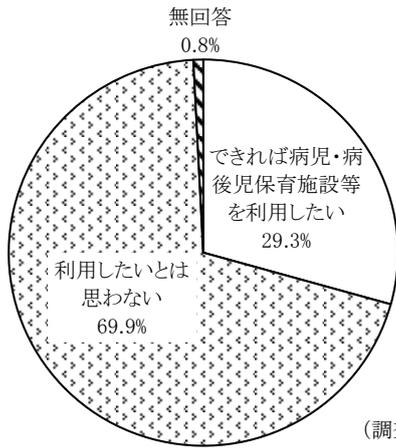
この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況では、「あった」が75.7%、「なかった」が21.9%となっている。

●通常の事業が利用できなかった場合の対処方法【問22-1】



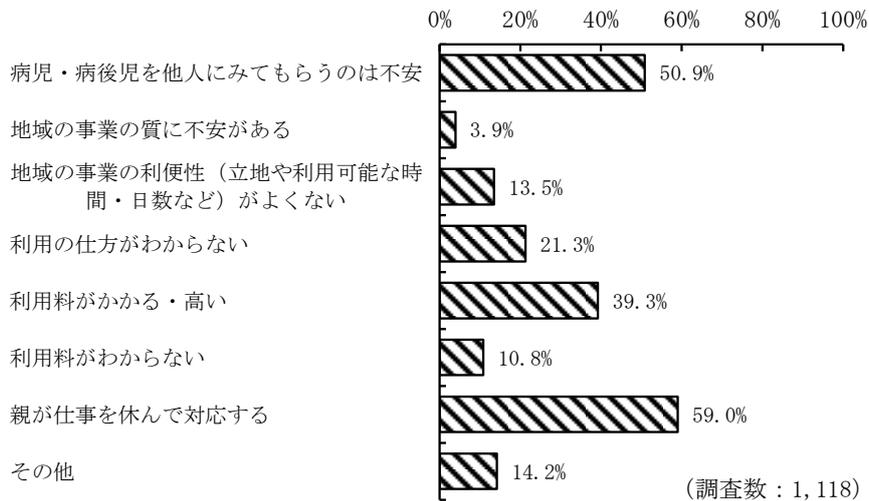
病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が81.5%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(52.9%)、「父親が休んだ」(34.9%)となっており、母親への依存度が高い。

●病気やケガ時の保育施設等の利用希望（対象：「父親・母親が休んだ」方）【問 22-2】



病気やケガ時の保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が69.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が29.3%となっている。

●病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 22-4】

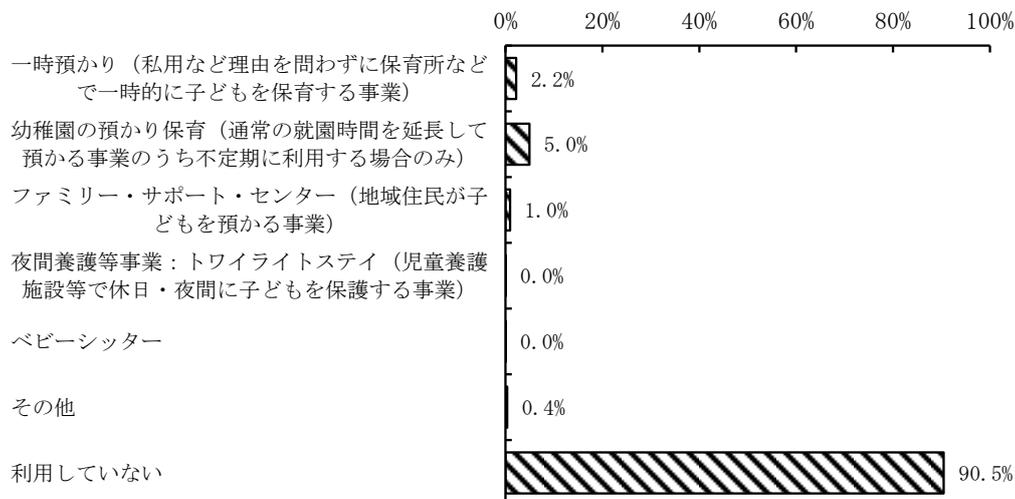


病気やケガ時、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が59.0%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(50.9%)、「利用料がかかる・高い」(39.3%)となっている。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

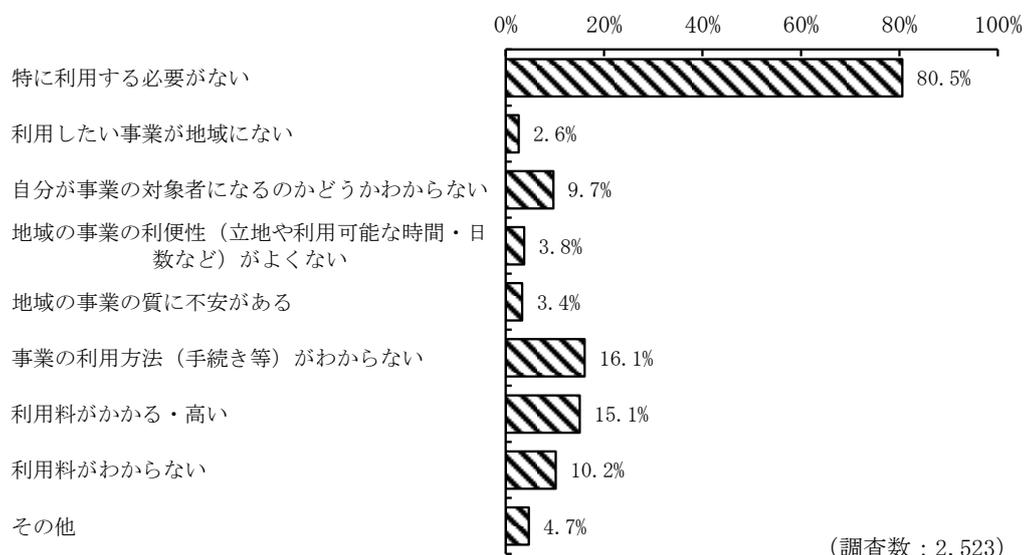
●私用等の目的で不定期に利用している一時預かり等【問 23】

(調査数：2,787)



私用等の目的で不定期に利用している教育・保育事業では、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)」(5.0%)、「一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業) (2.2%) と一時預かりの利用率は低くなっている。

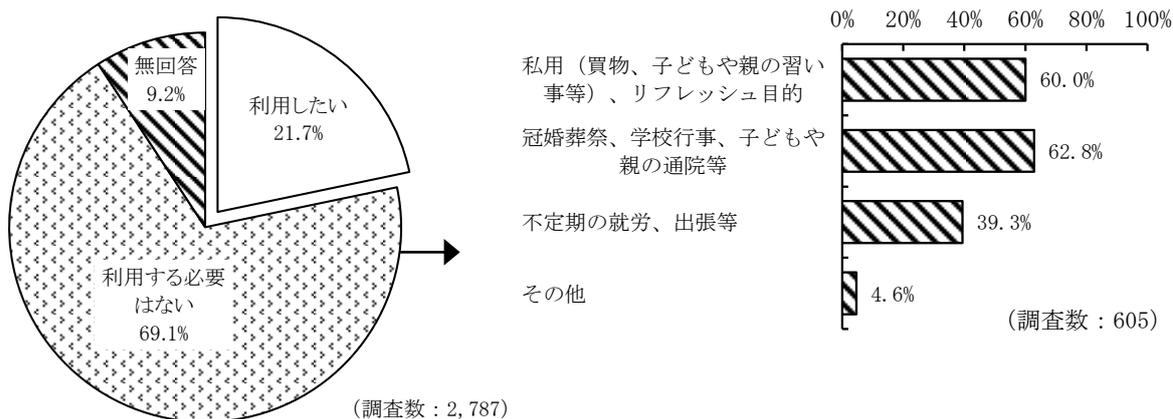
●現在利用していない理由【問 23-1】



(調査数：2,523)

不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由では、「特に利用する必要がない」が80.5%と最も多く、次いで「事業の利用方法 (手続き等) がわからない」(16.1%)、「利用料がかかる・高い」(15.1%) となっている。

●一時預かり等の利用希望の有無【問 24】

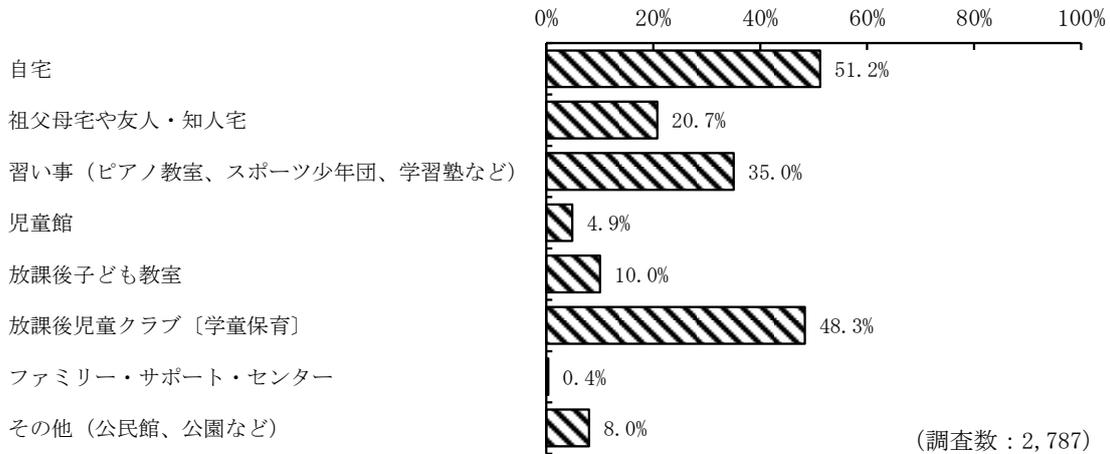


利用希望の有無では、「利用したい」が21.7%、「利用する必要はない」が69.1%となっている。

利用したい理由では、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が62.8%と最も多く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」（60.0%）となっている。

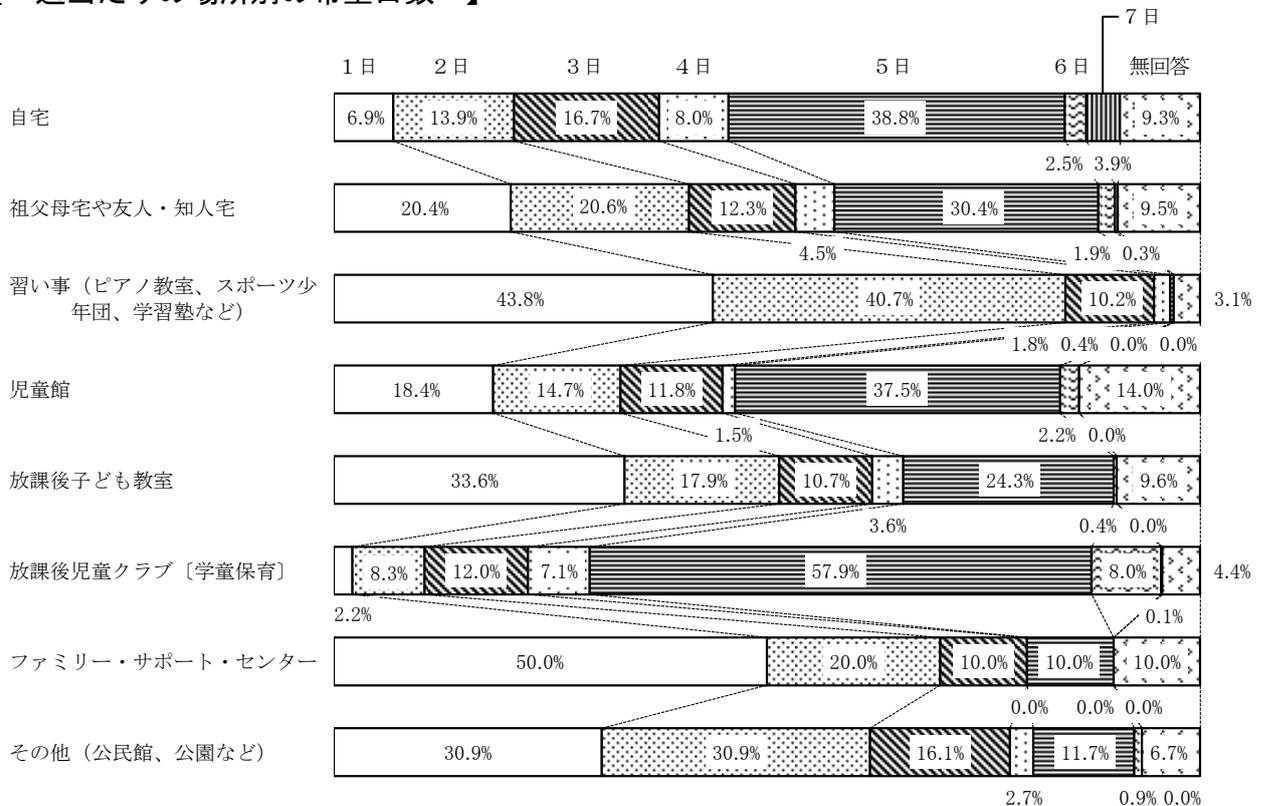
小学校就学後の放課後の過ごし方について

●小学校低学年（1～3年生）の過ごし方【問26】

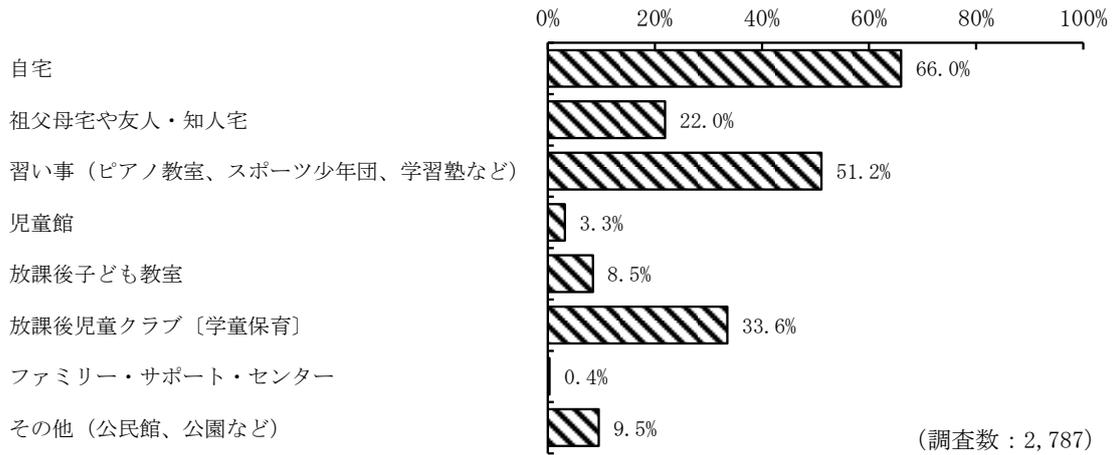


小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「自宅」が51.2%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（48.3%）、「習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など）」（35.0%）となつ

【 週当たりの場所別の希望日数 】

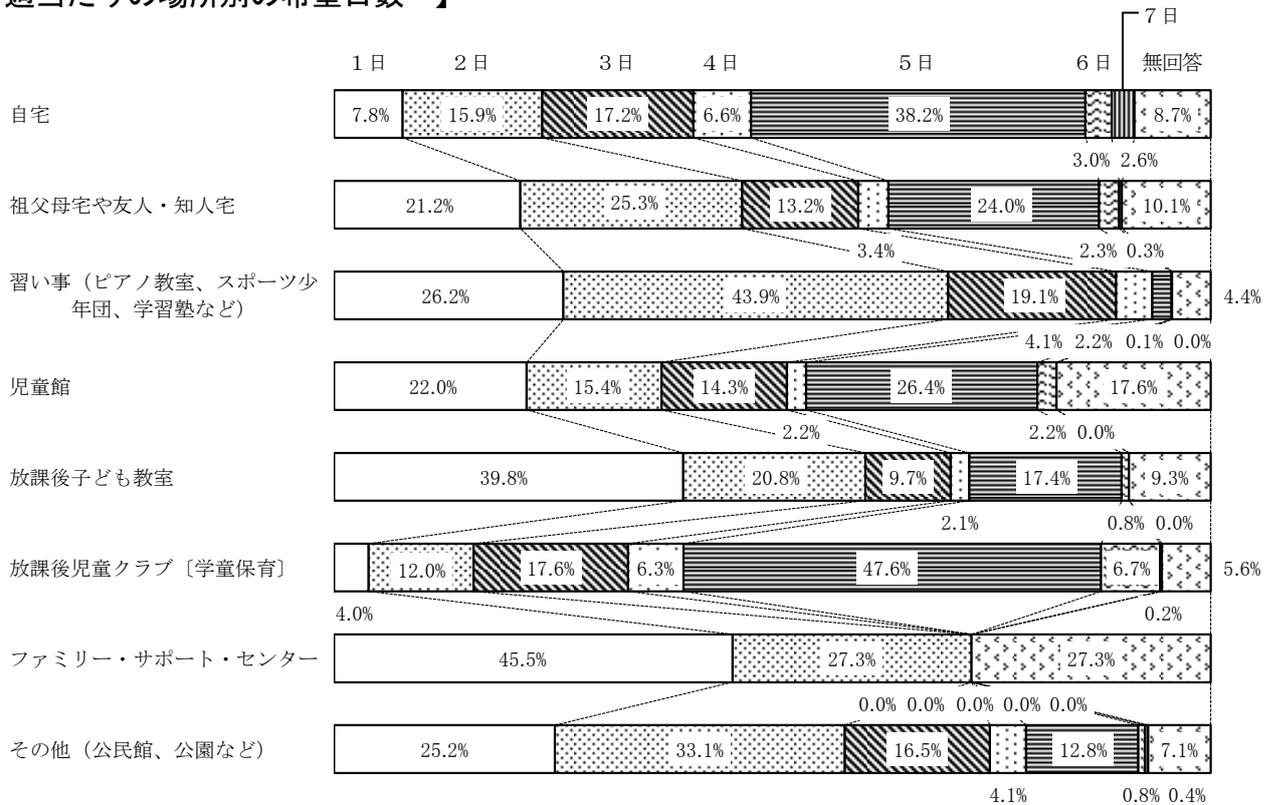


●小学校高学年（4～6年生）の過ごし方【問27】

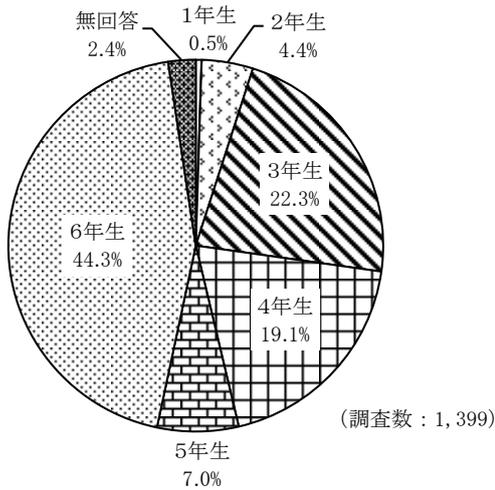


小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、「自宅」が66.0%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など）」（51.2%）、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（33.6%）とな

【 週当たりの場所別の希望日数 】

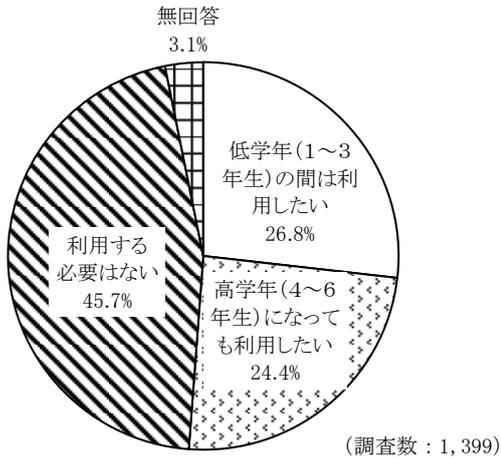


●放課後児童クラブを利用したい学年【問 28】



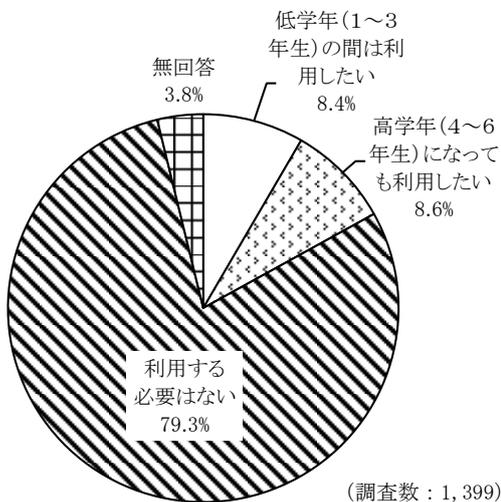
放課後児童クラブを利用したい学年では、「6年生」が 44.3%と最も多く、次いで「3年生」(22.3%)、「4年生」(19.1%)となっている。

●土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 28-1(1)】



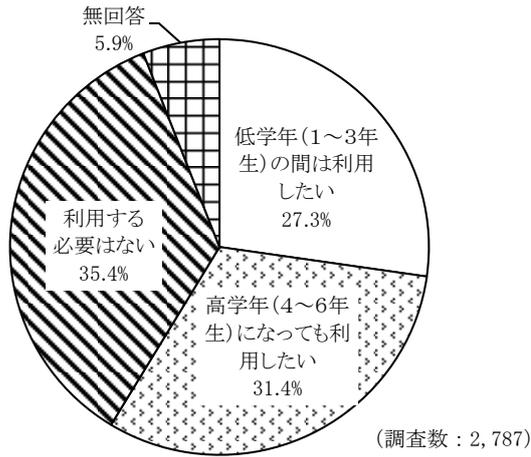
土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が 26.8%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が 24.4%となっている。

●日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 28-1(2)】



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が 8.4%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が 8.6%となっている。

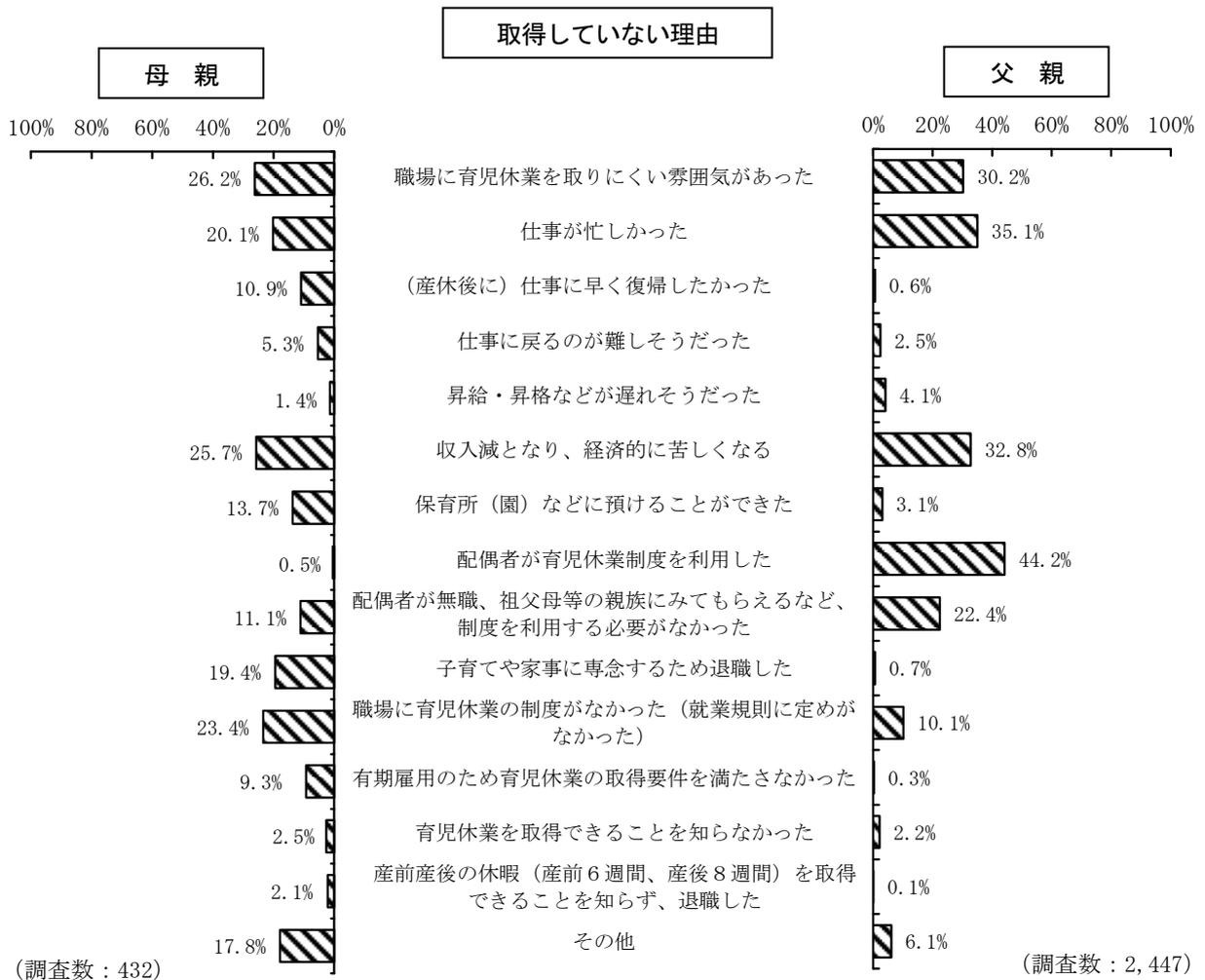
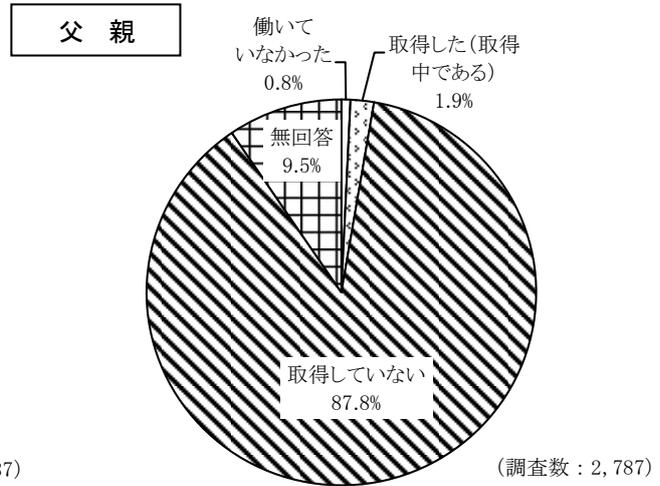
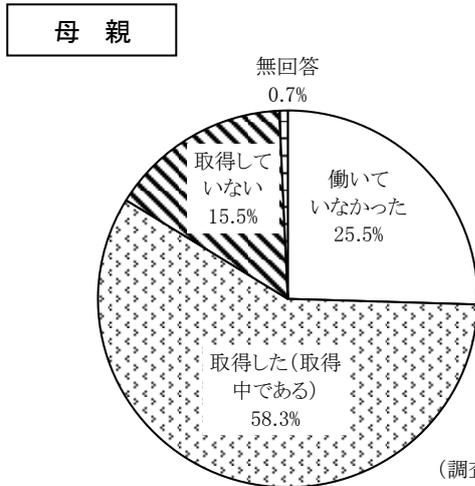
●長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 29】



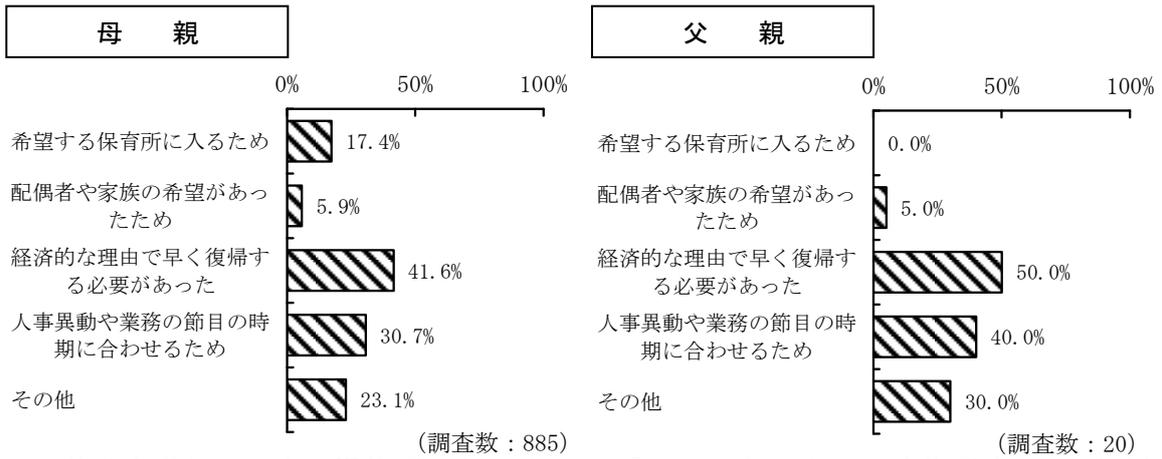
長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が27.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が31.4%となっている。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

●あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 30】



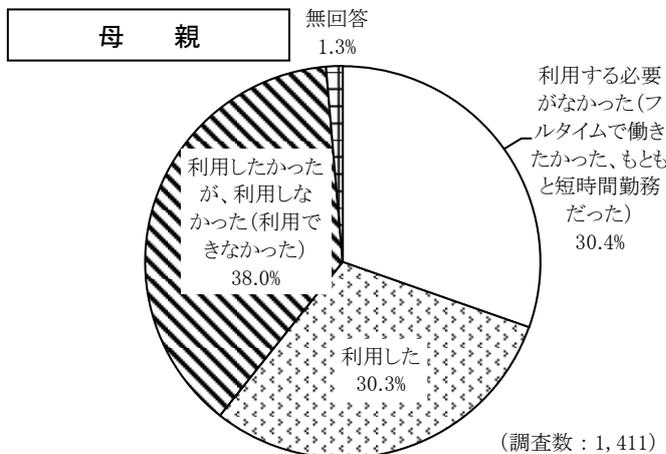
●希望より早く職場復帰した理由【問 30-6(1)①②】



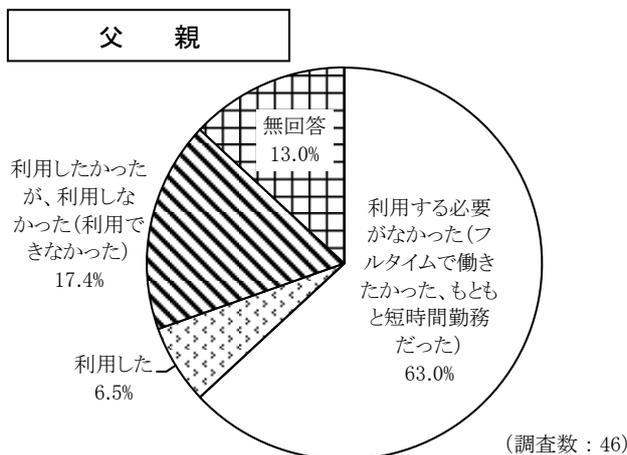
母親が希望より早く職場復帰した理由では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 41.6%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(30.7%) となっている。

父親が希望より早く職場復帰した理由では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 50.0%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(40.0%) となっている。

(12) 短時間勤務制度の利用状況【問 30-7(1)(2)】

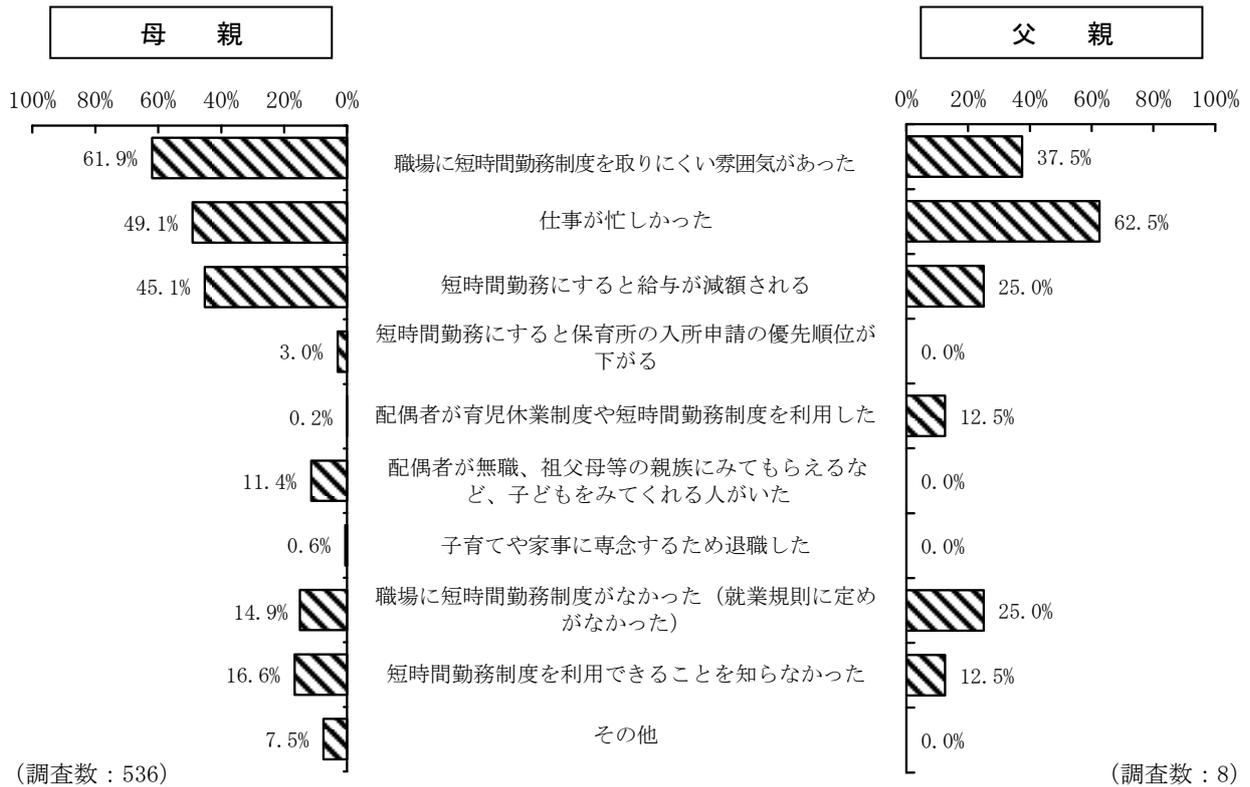


母親の短時間勤務制度の利用状況では、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が 38.0%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(30.4%) となっている。



父親の短時間勤務制度の利用状況では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が 63.0%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(17.4%) となっている。

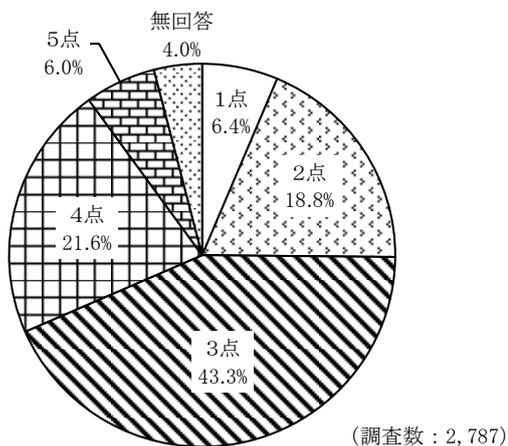
●短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由【問 30-8(1) (2)】



母親の短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が61.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」（49.1%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」（45.1%）となっている。

父親の短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由では、「仕事が忙しかった」が62.5%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（37.5%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がともに（25.0%）となっている。

その他 ●本市における子育ての環境や支援への満足度【問 31】



本市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が43.3%と最も多くなっている。

また、「4点」（21.6%）と「5点」（6.0%）を合わせた満足度が高いとみられる回答は27.6%となっている。

一方、「1点」（6.4%）と「2点」（18.8%）を合わせた満足度が低いとみられる回答は25.2%となっている。